# ストレージ診断カルテ
# NECストレージログ収集モジュール
# セットアップガイド


1章　概　要

2章　インストール

3章　NECストレージログ収集モジュールの使用方法について

4章　アンインストール


© NEC Corporation 2026

# 目　次


目　次 ..... 2

表　記 ..... 3
本文中の記号 ..... 3
外来語のカタカナ表記 ..... 3
オペレーティングシステムの表記 ..... 3

商　標 ..... 4

本書に関する注意と補足 ..... 4
最新版 ..... 4

1 章 概　要 ..... 5

1. はじめに ..... 6

2. ユーザサポート ..... 6

3. 動作環境 ..... 7

4. 前提条件 ..... 9
ユーザアカウントの作成について ..... 10

2 章 インストール ..... 11

1. インストール ..... 12
Web 公開物件からセットアッププログラムを起動する方法 ..... 12
セットアッププログラムの実行 ..... 13
インストール時のエラーの対処 ..... 16
エラーメッセージ一覧 ..... 16
エラー発生時の対処 ..... 16
インストール状態の確認 ..... 17
プログラムのインストール確認 ..... 17
タスクスケジューラへのタスク登録確認 ..... 18

2. タスクトリガー条件の変更 ..... 19

3 章 NEC ストレージログ収集モジュールの使用方法について ..... 21

1. NEC ストレージログ収集モジュールの設定 ..... 22
装置設定ファイル作成ツールの起動 ..... 22
装置設定ファイル作成ツールに新規装置を登録する場合 ..... 23
登録しているストレージの情報を変更する場合 ..... 25
設定時のエラーの対処 ..... 26
エラーメッセージ一覧 ..... 26

2. NEC ストレージログ収集モジュールの通信確認 ..... 27
通信確認用のタスクスケジューラの実行 ..... 27
通信確認時のエラーの対処 ..... 29
エラーメッセージ ..... 29
対処方法 ..... 29

4 章 アンインストール ..... 30

1. NEC ストレージログ収集モジュール アンインストール ..... 31

# 表　記

## 本文中の記号

本書では 3 種類の記号を使用しています。これらの記号は、次のような意味をもちます。

| | |
|---|---|
| 重要 | ソフトウェアの操作などにおいて、守らなければならないことについて示しています。 |
| チェック | ソフトウェアの操作などにおいて、確認しておかなければならないことについて示しています。 |
| ヒント | 知っておくと役に立つ情報、便利なことについて示しています。 |

## 外来語のカタカナ表記

本書では外来語の長音表記に関して、国語審議会の報告を基に告示された内閣告示に原則準拠しています。
ただし、OS やアプリケーションソフトウェアなどの記述では準拠していないことがありますが、
誤記ではありません。

## オペレーティングシステムの表記

本書では、Windows オペレーティングシステムを次のように表記します。

| 本書の表記 | Windows OSの名称 |
|---|---|
| Windows Server 2025 | Windows Server 2025 Standard |
| | Windows Server 2025 Datacenter |
| | Windows Server 2025 Essentials |
| Windows Server 2022 | Windows Server 2022 Standard |
| | Windows Server 2022 Datacenter |
| | Windows Server 2022 Essentials |
| Windows Server 2019 | Windows Server 2019 Standard |
| | Windows Server 2019 Datacenter |
| | Windows Server 2019 Essentials |
| Windows 11 | Windows 11 Home |
| | Windows 11 Pro |
| | Windows 11 Pro for Workstations |
| | Windows 11 Enterprise |

# 商　標

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
なお、本文には登録商標や商標に(TM)、(R)マークは記載しておりません。

# 本書に関する注意と補足

1. 本書の一部または全部を無断転載することを禁じます。
2. 本書に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 弊社の許可なく複製、改変することを禁じます。
4. 本書について誤記、記載漏れなどお気づきの点があった場合、ユーザサポートまで連絡してください。
5. 運用した結果の影響については、4 項に関わらず弊社は一切責任を負いません。
6. 本書の説明で用いられているサンプル値は、すべて架空のものです。

この説明書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いてください。

## 最新版

本書は作成日時点の情報をもとに作られており、画面イメージ、メッセージ、または手順などが実際のものと異なることがあります。変更されているときは、適宜読み替えてください。

# ストレージ診断カルテ

# 1

# 概　要

ストレージ診断カルテについて説明します。

**1. はじめに**

**2. ユーザサポート**

ソフトウェアに関する不明点、お問い合わせ先について説明しています。

**3. 動作環境**

ストレージ診断カルテが動作する環境について説明しています。

**4. 前提条件**

ストレージ診断カルテが動作するための前提条件について説明しています。

# 1. はじめに

本書をよくお読みになり、正しくお使いください。

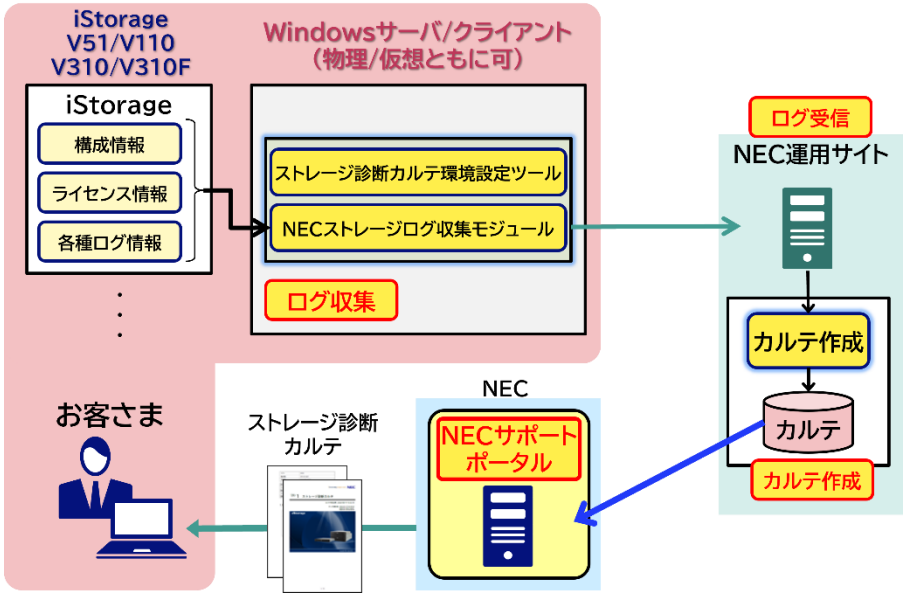
本書の内容は、OS の機能、操作方法について十分に理解されている方を対象に説明しています。

OS に関する操作、不明点については、Windows ヘルプ オンラインなどをご確認ください。

ストレージ診断カルテは、動作中のストレージの構成情報に加え、ライセンス情報、各種ログ情報(ハードウェアログ/ストレージ制御ソフトログ)といった情報を定期的に採取とNEC運用サイトに採取した情報を送信することで、システムの稼働状況を可視化します。

これにより、現状のIT資産の活用度を把握できるほか、不具合があるパーツの買い替えや、適切なリソース増強時期などをスムーズに判断でき、より安定したシステム運用を可能にします。

本書では、動作中のストレージの構成情報を定期的に採取するNECストレージログ収集モジュールについて説明します。




# 2. ユーザサポート

ソフトウェアに関する不明点は、当社担当営業までお問い合わせください。

[NEC コーポレートサイト]

製品情報やサポート情報など、本製品に関する最新情報を掲載しています。

http://jpn.nec.com/

https://jpn.nec.com/istorage/support/karte/index.html

ストレージ診断カルテの内容・参照方法に関するお問い合わせ先

karute-tech@istorage.jp.nec.com

# 3. 動作環境

NEC ストレージログ収集モジュールが動作する

ハードウェア・ソフトウェア環境・対象ストレージ装置は、次のとおりです。

重要

M シリーズおよび iStorage 従量課金サービス向けの NEC ストレージログ収集モジュールをインストールしている場合、M シリーズおよび iStorage 従量課金サービス向けの NEC ストレージログ収集モジュールをアンインストール後に、NEC ストレージログ収集モジュールのインストールを実施してください。

重要

V100/V300/V10e の NEC ストレージログ収集モジュールをインストールしている場合、アンインストールを行うことなく、NEC ストレージログ収集モジュールを追加でインストールを実施することができます。ただし、V100/V300/V10e の NEC ストレージログ収集モジュールのインストール先とは異なる場所にインストールを実施してください。
インストール先の変更方法は、2 章インストールの「セットアッププログラムの実行」手順において、インストール先の設定を変更することができます。

重要

NEC ストレージログ収集モジュール(ver.2.0x、ver 2.0x.03、ver.2.0x.04、ver.2.0x.05)をインストールしている場合、NEC ストレージログ収集モジュール(ver 2.0x、ver 2.0x.03、ver.2.0x.04、ver.2.0x.05)をアンインストール後に NEC ストレージログ収集モジュールのインストールを実施してください。

● ハードウェア

- メモリ　1.0GB 以上
- ハードディスクドライブの空き容量　3.0GB 以上
  （収集した構成情報を保存する領域を含めます）

● ソフトウェア

以下のいずれかの OS

- Windows 11(x64)
- Windows Server 2019(x64)
- Windows Server 2022(x64)
- Windows Server 2025(x64)

また、以下の仮想環境のホスト OS とゲスト OS に対応しています。

- ホスト OS
  - Hyper-V Windows Server 2019(x64)
  - Hyper-V Windows Server 2022(x64)
  - Hyper-V Windows Server 2025(x64)
  - VMware ESXi 7.0 Update 3
  - VMware ESXi 8.0
  - VMware ESXi 8.0 Update 1
  - VMware ESXi 8.0 Update 2
- ゲスト OS
  - Windows 11(x64)
  - Windows Server 2019(x64)
  - Windows Server 2022(x64)
  - Windows Server 2025(x64)

● 対象ストレージ装置

ー対象モデル

iStorage V51/V110/V310/V310F

ー対象モデルの DKCMAIN のバージョン

A3-03-01-40/01 以上

重要

ホストポート(SFP)情報の診断項目を利用するには、
DKCMAIN のバージョンが A3-04-21-40/00 以上である必要があります。

# 4. 前提条件

NEC ストレージログ収集モジュールが動作する前提条件について説明します。

1. NEC ストレージログ収集モジュールを動作させるには、セットアッププログラム (IIoT_Collect_for_v_gen2_202.zip) のインストールが必要になります。
2. セットアッププログラム(IIoT_Collect_for_v_gen2_202.zip)を事前に入手してください。
3. 対象ストレージ装置との通信を行うため、以下の通信プロトコルを許可する必要があります
   ・HTTPS：ポート 443
4. インターネット経由で NEC 運用サイトと通信を行うため、以下の通信プロトコルを許可する必要があります
   ・SFTP：ポート 22
5. NEC ストレージログ収集モジュールを動作させる端末は 24 時間稼働が必要になります。
6. 対象ストレージ装置でユーザアカウントの作成が必要になります。
7. 対象ストレージ装置を登録するには NEC ストレージログ収集モジュールと一緒にインストールされる「装置設定ファイル作成ツール」から設定する必要があります。

重要

Windows 11 の OS を利用する際には、一定時間未使用時に PC を自動的に停止するスリープ機能により NEC ストレージログ収集モジュールが正常に動作しないことがあります。そのため、スリープ機能を有効にしている場合は、スリープ機能を無効にしてください。

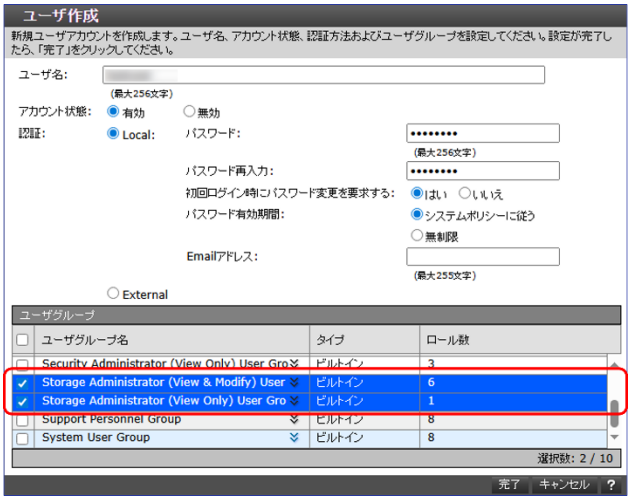
# ユーザアカウントの作成について

iStorage V51/V110/V310/V310F システム管理者ガイド(IV-UG-002)の「第 4 章 ユーザアカウント作成」を参照して、NEC ストレージログ収集モジュールから対象ストレージ装置の構成情報を収集するためのユーザアカウントを作成してください。

1. 「ストレージシステムのみにアカウント登録する場合」の作業を実施してください。
2. 「ストレージ管理者(参照)」と「ストレージ管理者（プロビジョニング）」のロールが割り当てられているユーザグループを選択してください。

チェック

ビルトイングループを選択する場合は
「Storage Administrator(View & Modify)」と「Storage Administrator(View Only)」
の２つを選択してください



ストレージ診断カルテ

# 2

# インストール

ストレージ診断カルテの NEC ストレージログ収集モジュールのインストールについて説明します。

**1. インストール**

インストール手順について説明しています。

**2. タスクトリガー条件の変更**

NECストレージログ収集モジュールのタスクトリガー条件の変更方法について説明しています。

# 1. インストール

NEC ストレージログ収集モジュールをインストールする手順を説明します。

## Web 公開物件からセットアッププログラムを起動する方法

1. ビルトイン Administrator(または管理者権限のあるアカウント)で、サインイン(ログイン)します。

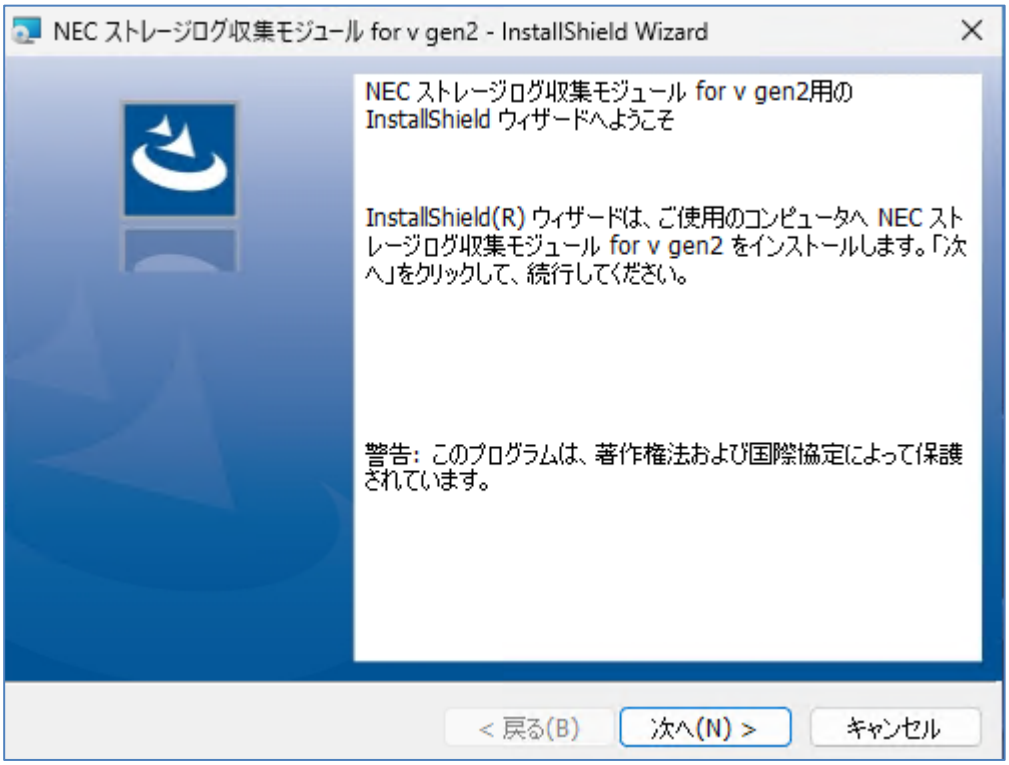
2. Web 公開されているセットアッププログラムをダウンロードして解凍します。
   ダウンロードした IIoT_Collect_for_v_gen2_202.zip を任意のフォルダーに格納し、解凍してください。

3. IIoT_Collect_for_v_gen2_202.zip のセットアッププログラム「setup_202.exe」をダブルクリックします。
   NEC ストレージログ収集モジュールのセットアップウィンドウが起動します。

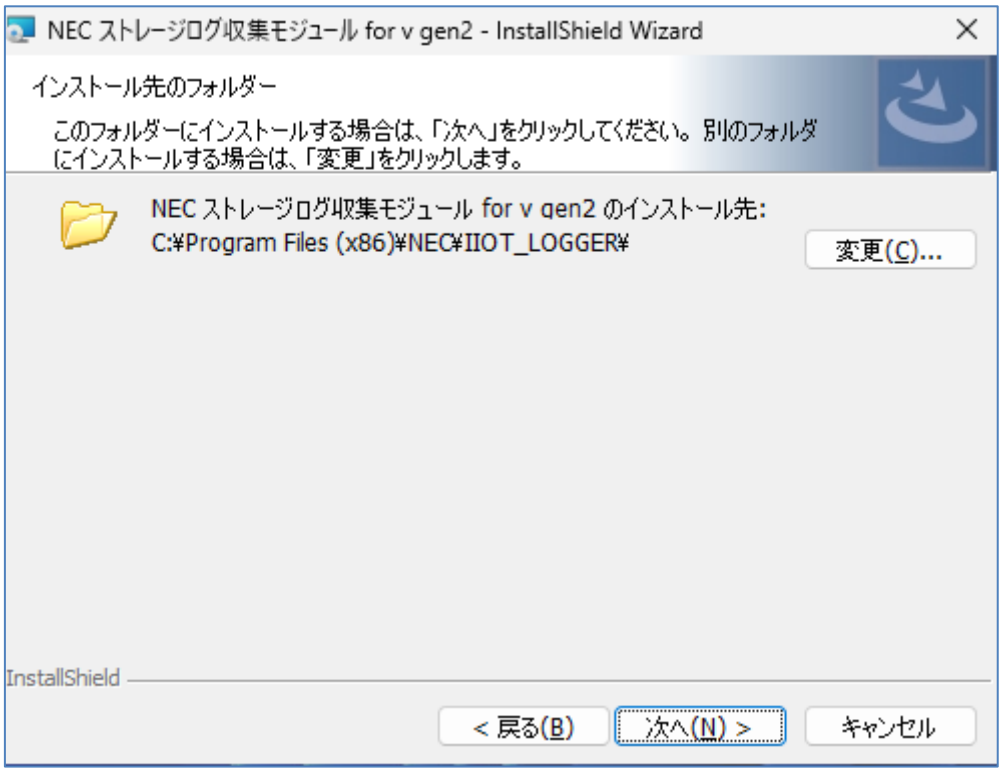
# セットアッププログラムの実行

セットアッププログラムのウィンドウに従って、インストールしてください。

1. 起動ウィンドウの[次へ(N)]をクリックします。



2. インストール先を選択します。デフォルトのインストールフォルダーから変更する場合は、[変更]をクリックします。フォルダーの選択後に[次へ(N)]をクリックします。




重要

インストールフォルダーを変更する際、インストール先フォルダー名には、以下の文字を指定できます。

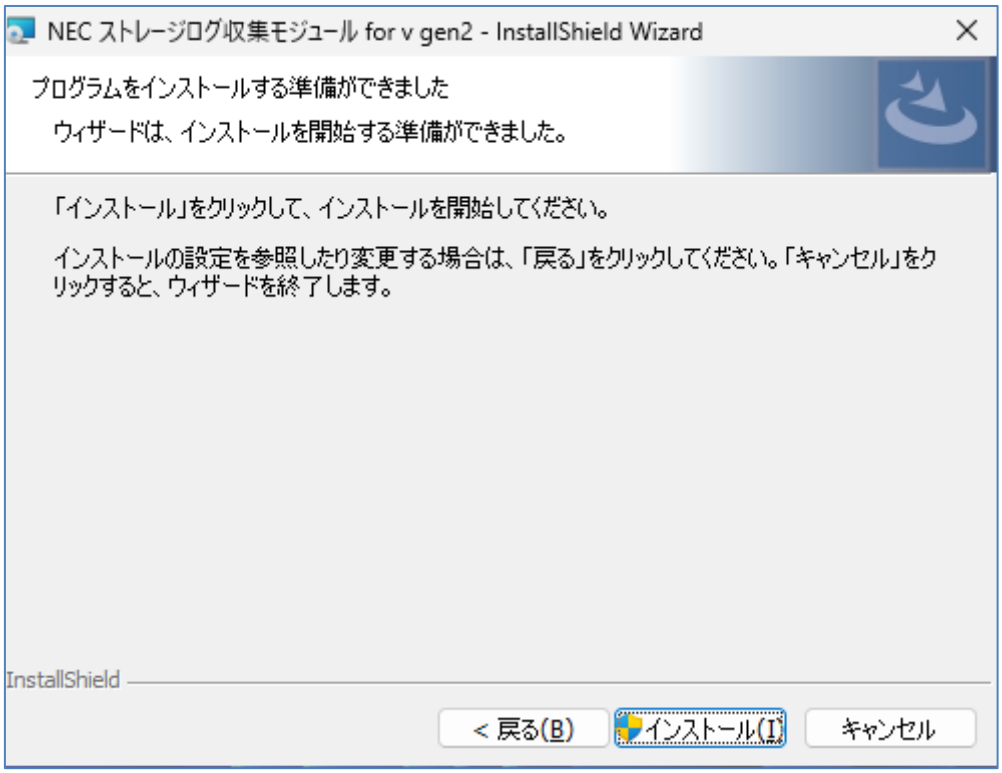
・半角英数字
・半角スペース
・「-」(ハイフン)
・「_」(アンダーバー)

上記以外の文字を指定すると、インストールが失敗、または、ログ収集処理が失敗するなど誤動作することがあります。

チェック

インストールフォルダー配下に、ストレージの情報を採取します。
「1 章 3. 動作環境」に記載の空き容量が確保されているハードディスクのフォルダーを指定してください。

3. インストールを開始します。[インストール(I)]をクリックします。




4. NEC ストレージログ収集モジュールのインストールが完了しました。[完了(F)]をクリックします。

以上でインストールは終了です。

# インストール時のエラーの対処

NEC ストレージログ収集モジュールのインストール時にエラーが発生した場合の対処方法を示します。
エラーが発生した場合は、以下の手順に従ってください。

## エラーメッセージ一覧

- セットアップは管理者権限で実行してください。
  管理者権限がない場合のエラーです。管理者でログインし直して再度実行してください。
- 上記以外のエラーが発生した場合は、当社担当営業に連絡してください。

## エラー発生時の対処

- エラー要因を排除後、インストーラを再実行してください。その場合、いったんアンインストールを要求された際は、アンインストール後に再実行してください。

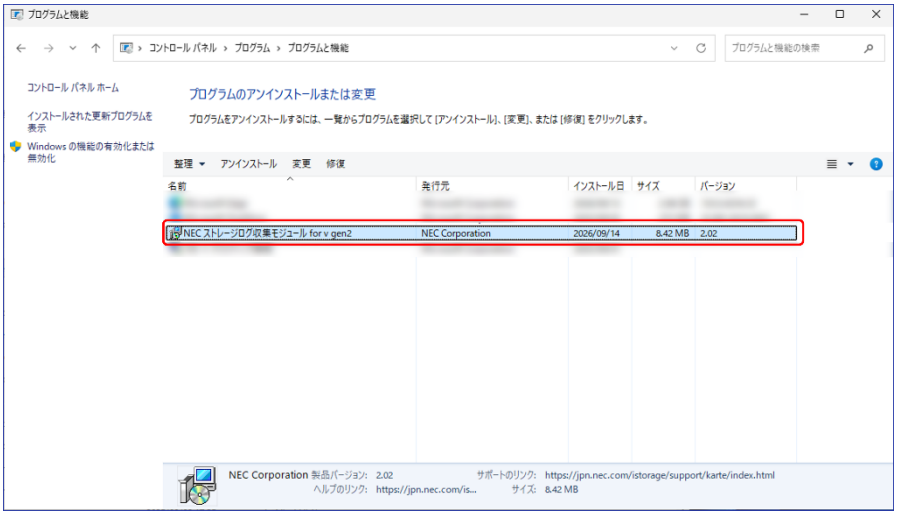
# インストール状態の確認

NEC ストレージログ収集モジュールがインストールされているか確認するには、以下の 2 つの手順(プログラムのインストール確認、および、タスクスケジューラへのタスク登録確認)をいずれも確認してください。

## プログラムのインストール確認

NEC ストレージログ収集モジュールがインストールされているか確認するには、以下の手順に従ってください。

1. コントロールパネルの「プログラムと機能」をクリックします。
2. 「プログラムと機能」に「NEC ストレージログ収集モジュール for v gen2」が表示され、バージョンが「2.02」であることを確認します。

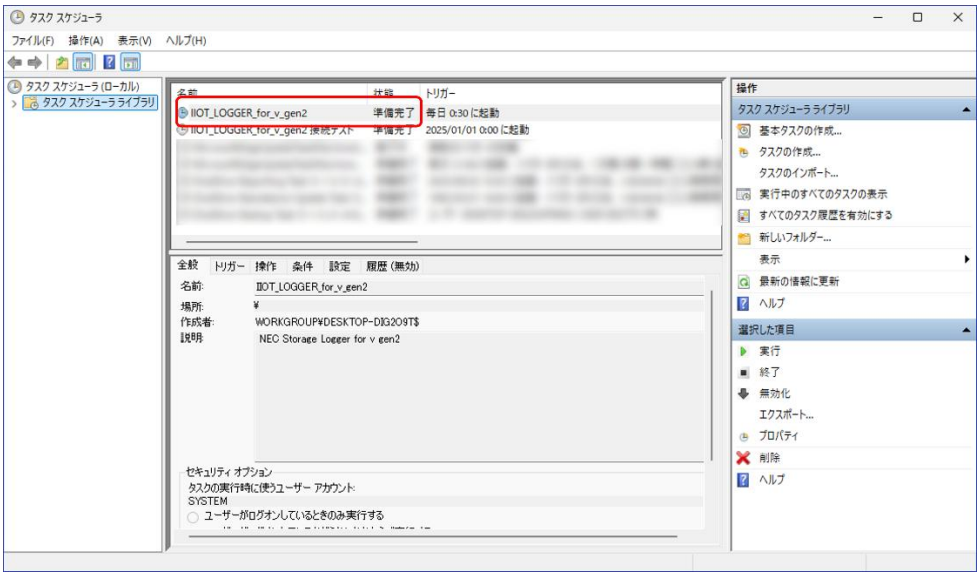



3. デスクトップ上に「装置設定ファイル作成ツール」のショートカットが表示されていることを確認します。

## タスクスケジューラへのタスク登録確認

NEC ストレージログ収集モジュールがタスクスケジューラに登録されているか確認するには、以下の手順に従ってください。

1. 「スタート」⇒「Windows 管理ツール」を開きます。
   ※Windows11 の場合は「スタート」⇒「Windows ツール」を開きます。
2. 「タスクスケジューラ」を起動し、タスクスケジューラライブラリを開きます。
3. 「IIOT_LOGGER_for_v_gen2」のタスクが表示され、状態が「準備完了」となっていることを確認します。



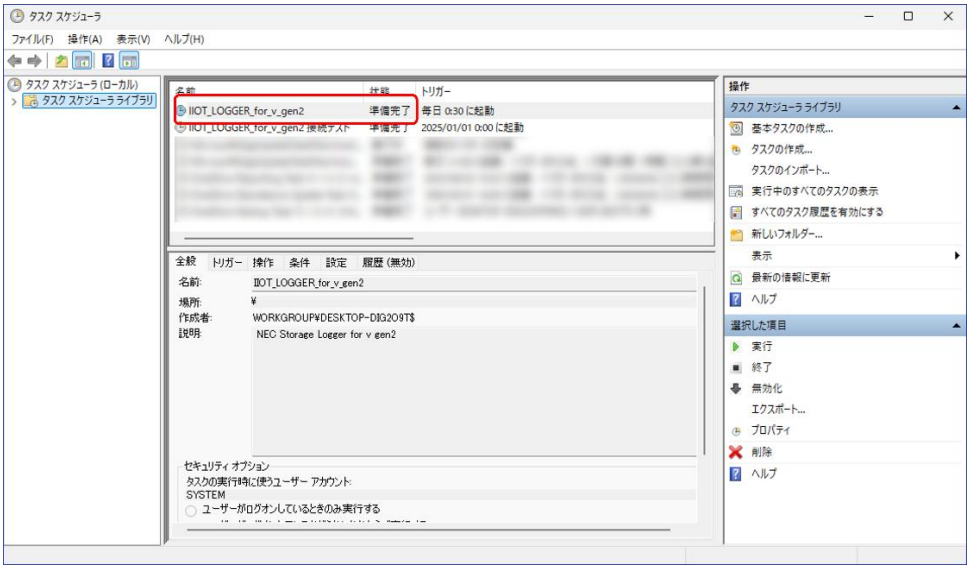
# 2. タスクトリガー条件の変更

NEC ストレージログ収集モジュールのタスク開始トリガーを変更する手順を説明します。
ビルトイン Administrator(または管理者権限のあるアカウント)で、サインイン(ログイン)して、
実施してください。

チェック

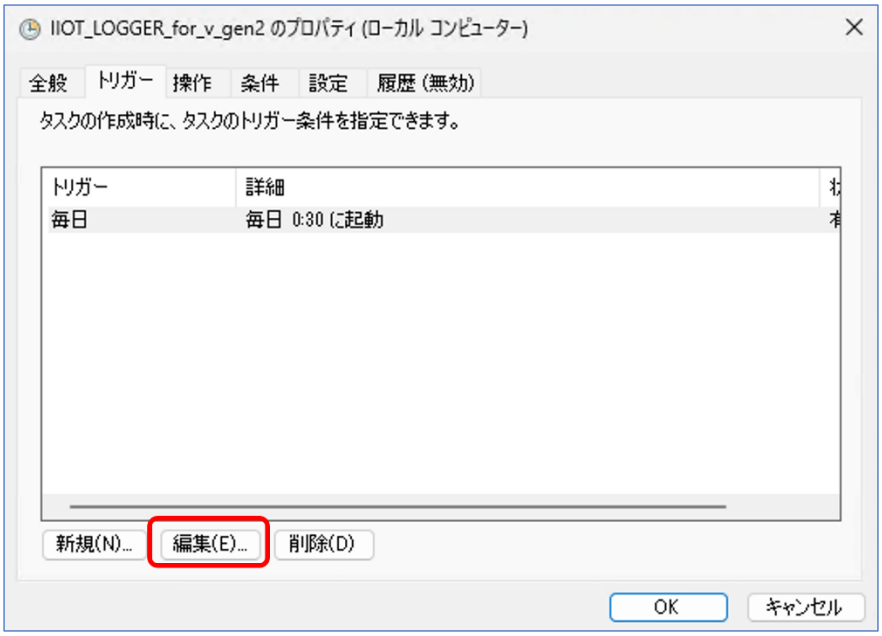
NEC ストレージログ収集モジュールはインストール時に、タスクのトリガー条件を
**「毎日 0:30 に起動」**として設定されます。
NEC ストレージログ収集モジュールをインストールしている端末が 0:30 に停止する運用をしている場合は、タスク開始のトリガー条件を変更する必要があります。

1. 「スタート」⇒「Windows 管理ツール」を開きます。
   ※Windows11 の場合は「スタート」⇒「Windows ツール」を開きます。
2. 「タスクスケジューラ」を起動し、タスクスケジューラライブラリを開きます。
3. 「IIOT_LOGGER_for_v_gen2」のタスクが表示され、状態が「準備完了」となっていることを確認します。



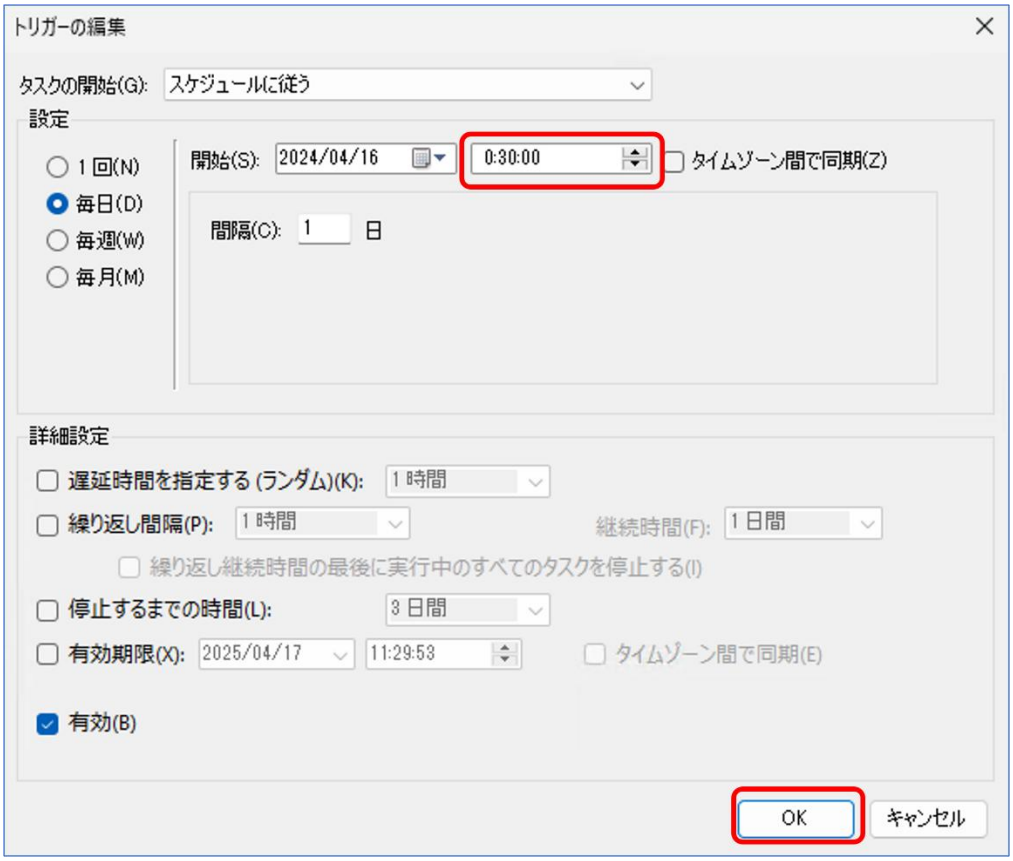

4. 「IIOT_LOGGER_for_v_gen2」のタスクを選択し、右クリックして「プロパティ」をクリックします。

5. 「IIOT_LOGGER_for_v_gen2」のプロパティ画面で[トリガー]のタブを選択します。




6. トリガー：毎日、詳細：毎日 0:30 に起動、状態：有効と表示されているトリガー条件を選択し、[編集(E)…]をクリックします。

7. トリガーの編集画面が表示されるので、設定の「開始(S):」の時刻のみを変更し、[OK]をクリックします。




「IIOT_LOGGER_for_v_gen2」のプロパティ画面が表示されるので、[OK]をクリックします。

ストレージ診断カルテ

3

# NEC ストレージログ収集モジュールの使用方法について

NEC ストレージログ収集モジュールの設定と通信確認について説明します。

**1. NECストレージログ収集モジュールの設定**

NECストレージログ収集モジュールの設定について説明しています。

**2.NECストレージログ収集モジュールの通信確認**

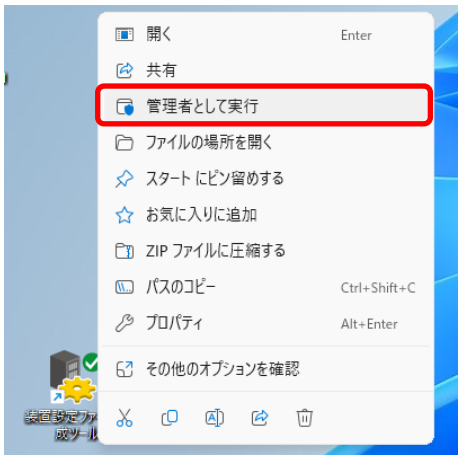
NECストレージログ収集モジュールの通信確認について説明しています。

# I. NEC ストレージログ収集モジュールの設定

装置設定ファイル作成ツールを使用して、構成情報を収集するための設定を行う手順について説明します。

## 装置設定ファイル作成ツールの起動

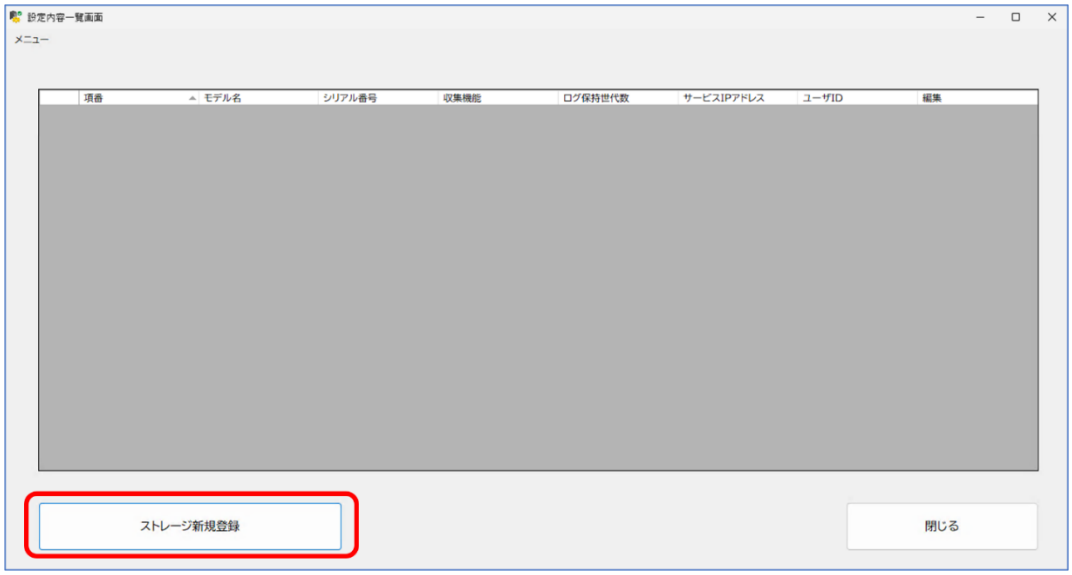
1. デスクトップ上の「装置設定ファイル作成ツール」のショートカットを「管理者として実行」で起動してください。ユーザアカウント制御が表示された場合は、[はい]を選択して続行してください。



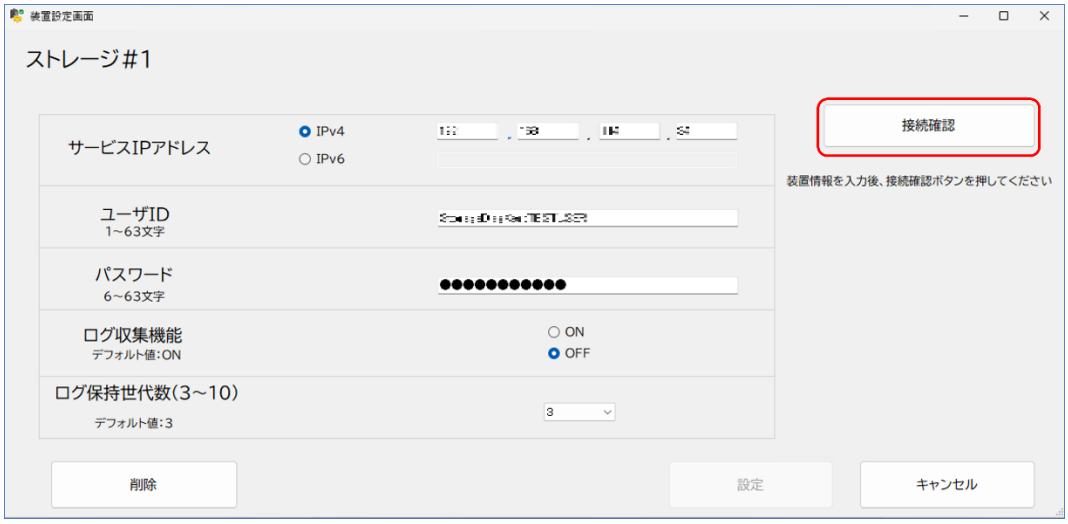

2. 「装置定義ファイル(diskarray_config.ini)が存在しません。新たに装置設定ファイルを作成します」のウィンドウが出た場合は[OK]をクリックしてください。
初回起動時のみ表示されます。

## 装置設定ファイル作成ツールに新規装置を登録する場合

1. [ストレージ新規登録]ボタンをクリックします。




2. 装置設定画面に対象ストレージ装置の情報と設定値を入力してください。
   入力後に[接続確認]ボタンをクリックします。

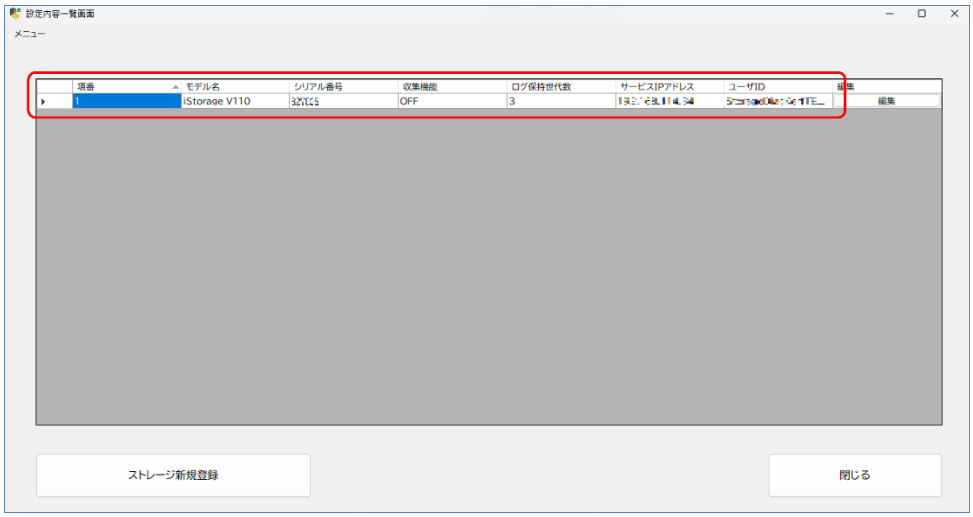



| プロパティ | 説明 |
|---|---|
| サービス IP アドレス | ログ収集対象ストレージ装置のサービス IP アドレスを指定します。 |
| ユーザ ID | 作成したユーザアカウントのユーザ ID を指定します。※1 |
| パスワード | 作成したユーザアカウントのパスワードを指定します。※1 |
| ログ収集機能 | ログ収集の要否全体を指定します。<br>ON ：実施する（デフォルト）<br>OFF ：実施しない |
| ログ保持世代数 | ローカルディスクへのログデータファイル保持世代数(日数)を指定します。 |

※1 「第 1 章 4. 前提条件」に記載されている「ユーザアカウントの作成について」の手順に従って作成したユーザ ID とパスワードを入力してください。

4. 「接続 OK」の表示になっているかを確認し、[設定]ボタンをクリックしてください。
「接続 NG」の場合は、設定値を見直して、[接続確認]ボタンをクリックしてください。
設定を中止する場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

5. 登録したストレージ装置の情報が表示されているかを確認しください。
登録を終了する場合は、[閉じる]ボタンをクリックして終了してください。
続けて、登録する場合は、手順 1 から同じ手順で実施してください。

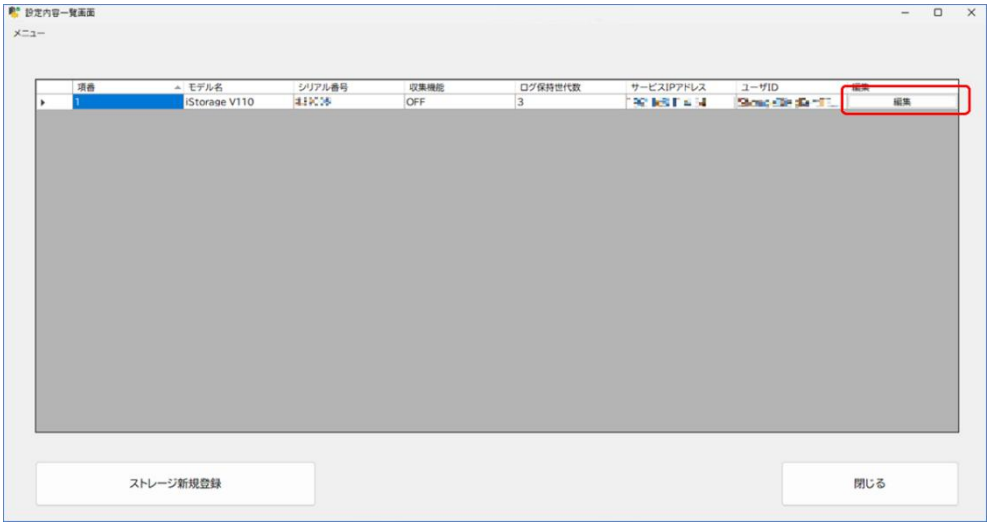



ヒント

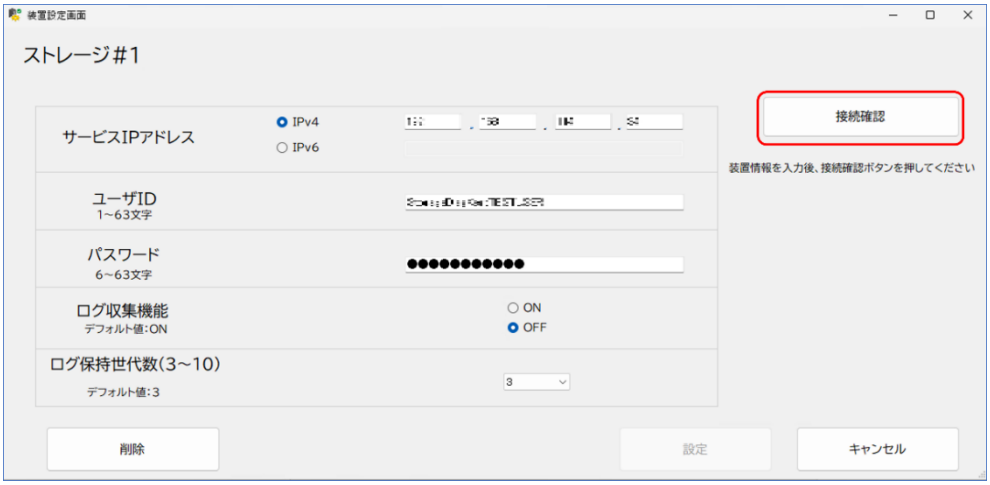
登録可能なストレージ装置は最大 16 台になります。

## 登録しているストレージの情報を変更する場合

1. 変更したいストレージ装置の[編集]ボタンをクリックします。




2. 装置設定画面には対象ストレージ装置の情報と設定値が入力されています。
   変更したい設定値を変更してください。変更後に[接続確認]ボタンをクリックしてください。

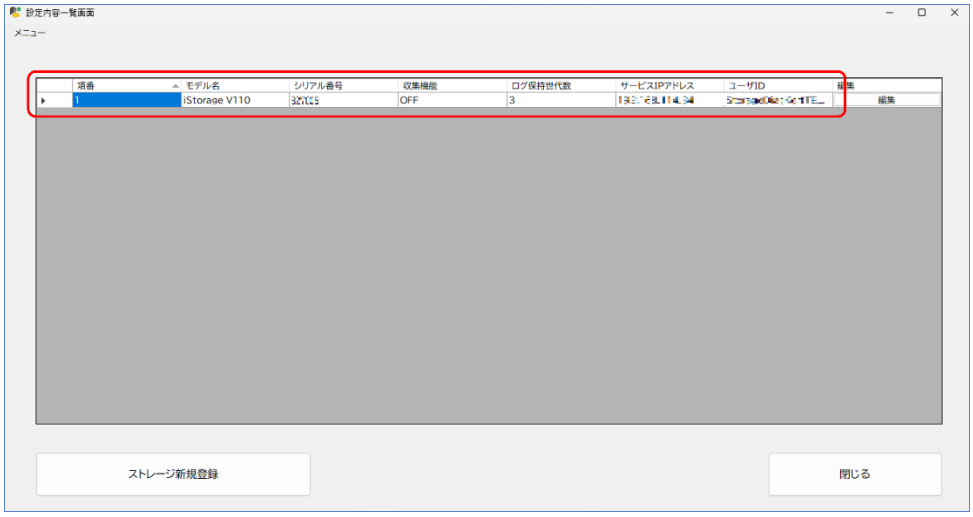



3.「接続 OK」の表示になっているかを確認し、[設定]ボタンをクリックしてください。
   「接続 NG」の場合は、設定値を見直して、[接続確認]ボタンをクリックしてください。
   設定を中止する場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

4.変更したストレージ装置の情報が表示されているかを確認しください。

変更を終了する場合は、[閉じる]ボタンをクリックして終了してください。

続けて、変更する場合は、手順 1 から同じ手順で実施してください。




# 設定時のエラーの対処

装置設定ファイル作成ツールでエラーが発生した場合の対処方法を示します。

エラーが発生した場合は、以下の手順に従ってください。

## エラーメッセージ一覧

- 「装置設定ファイル(diskarray_config.ini)は書き込み不可の状態です」管理者権限がない場合のエラーです。
  「装置設定ファイル作成ツール」を「管理者として実行」で起動してください。
- 「装置設定画面」で[接続確認]ボタンをクリックした後に、「サービス IP アドレス:接続 NG」と表示された場合は、ストレージ装置と通信ができてない場合のエラーです。設定したサービス IP アドレス、ユーザ ID、パスワードが正しいか見直してください。また、ストレージ装置との通信経路が正しいか確認してください。
- 上記以外のエラーが発生した場合は、当社担当営業に連絡してください。

# 2. NEC ストレージログ収集モジュールの通信確認

NEC 運用サイトとの通信可否を確認するための方法について説明します。

重要

ストレージログ収集モジュールの導入時、または、導入環境下でネットワーク構成の変更による NEC 運用サイトとの通信可否の確認にのみ実施してください。

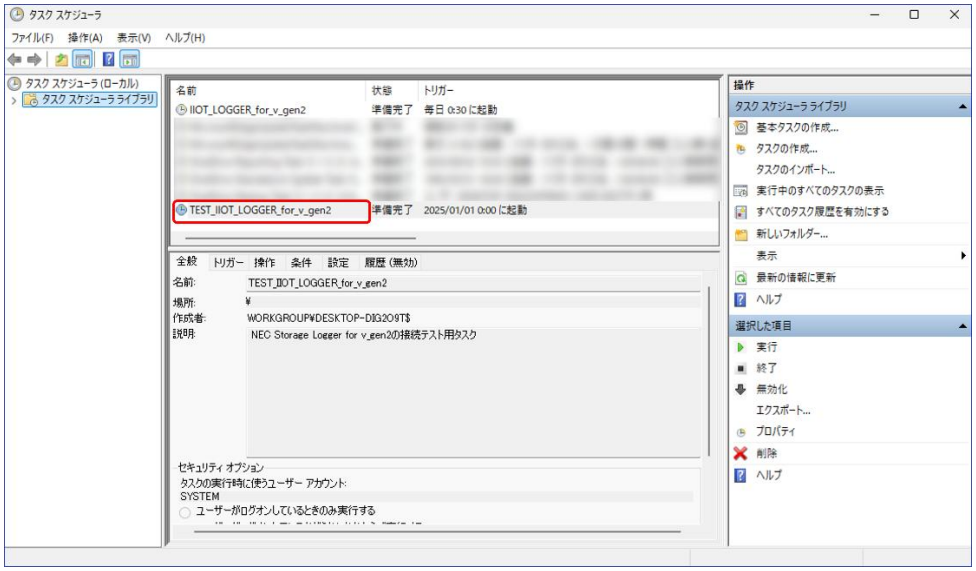
## 通信確認用のタスクスケジューラの実行

1. 「スタート」⇒「Windows 管理ツール」を開きます。

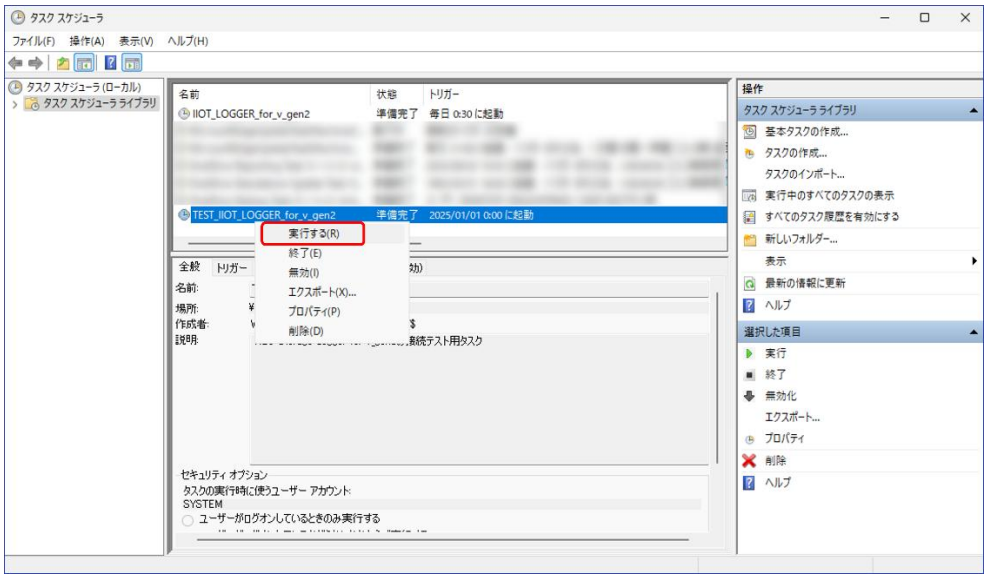
   ※Windows11 の場合は「スタート」⇒「Windows ツール」を開きます。

2. 「タスクスケジューラ」を起動し、タスクスケジューラライブラリを開きます。

3. 「TEST_IIOT_LOGGER_for_v_gen2」のタスクが表示されていることを確認します。



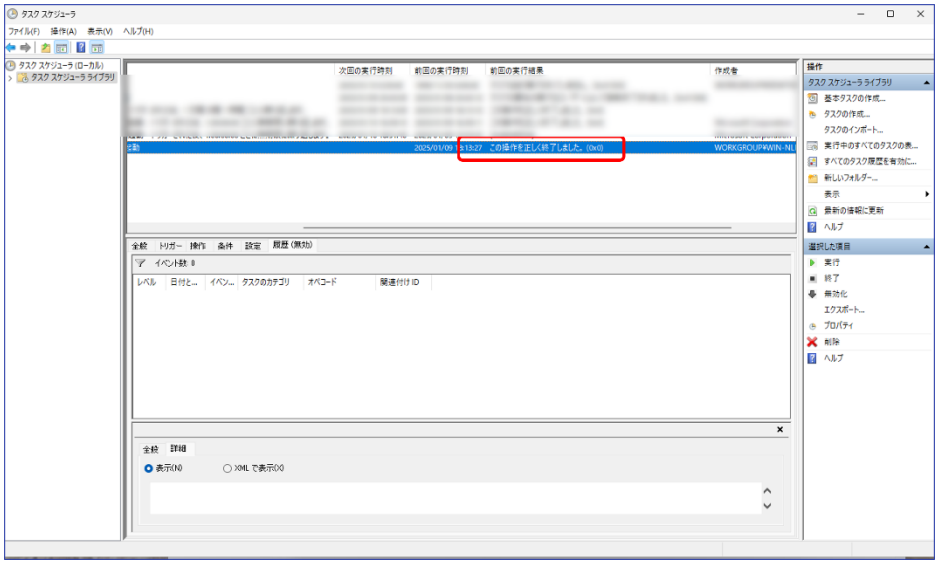

4. 「TEST_IIOT_LOGGER_for_v_gen2」のタスクを選択し、右クリックして「実行する(R)」をクリックします。



5. 「前回の実行結果」の列が「現在タスクを実行中です。(0x41301)」から「この操作は正しく終了しました(0x0)」になっていることを確認します。

ヒント

タスクスケジューラ上で、右クリックして「最新の情報に更新(R)」をクリックし、画面を更新してください。




6. インストール先のフォルダー配下の「tool¥connection_log」フォルダーにある「connection_result_YYYYMMDDHHMMSS.txt」のファイルに「接続が成功しました」が記載されていることを確認します。

チェック

「接続が失敗しました」と記載されている場合は、「1 章 4. 前提条件」に記載の通信プロトコルが許可されていることを確認して、再度実行してください。
再度実行しても「接続が失敗しました」と記載されている場合は、次項の「通信確認時のエラーの対処」を参照してください。

7. 「接続が成功しました」と記載されていれば、通信の確認は完了です。

チェック

インストール先のフォルダー配下の「tool¥connection_log」フォルダーに格納されているファイルは、通信確認で実行する毎に結果を生成するため、不要な場合は削除してください。

# 通信確認時のエラーの対処

下記のエラーメッセージが出力されている場合、インストールフォルダーの「access_key.code」にプロキシサーバーの情報を記述します。以下の対処方法に従って記述してください。

チェック

使用しているプロキシサーバーのアドレスとポート番号をご用意ください。
プロキシサーバーのアドレスは、FQDN 形式および IPv4 アドレス、IPv6 アドレスのいずれか指定可能です。

## エラーメッセージ

ログ収集モジュールのインストール配下の「tool¥connection_log」のフォルダーにある「connection_result_YYYYMMDDHHMMSS.txt」のファイルに以下のメッセージがある場合

- 接続に失敗しました
  【対処】
  1. ネットワーク接続状況をご確認ください
  2. インターネットに接続できているかをご確認ください
  3. セットアップガイドを参照し、「通信確認時のエラーの対処」をご確認ください。

## 対処方法

1. ビルトインAdministrator(または管理者権限のあるアカウント)でサインイン(ログイン)します。
2. インストールフォルダーの 「access_key.code」ファイルをテキストエディタで開きます。
3. 「ProxyServer=」の後に、プロキシサーバーのアドレスを記述します。
4. 「ProxyPort=」の後に、ポート番号を記述します。
5. 変更内容を保存して、テキストエディタを閉じます。
6. 「NECストレージログ収集モジュールの通信確認」を実施してください。

ヒント

例)
下記のプロキシサーバーの FQDN 形式のアドレスとポート番号を利用している場合
http://＊＊＊.＊＊＊.＊＊＊.＊＊＊::8080
3.と 4.の記述は下記になります。
ProxyServer=＊＊＊.＊＊＊.＊＊＊.＊＊＊
ProxyPort=8080

ストレージ診断カルテ

# 4

# アンインストール

NEC ストレージログ収集モジュールのアンインストールについて説明します。

**1. NECストレージログ収集モジュールアンインストール**

NECストレージログ収集モジュールのアンインストール手順について説明しています。

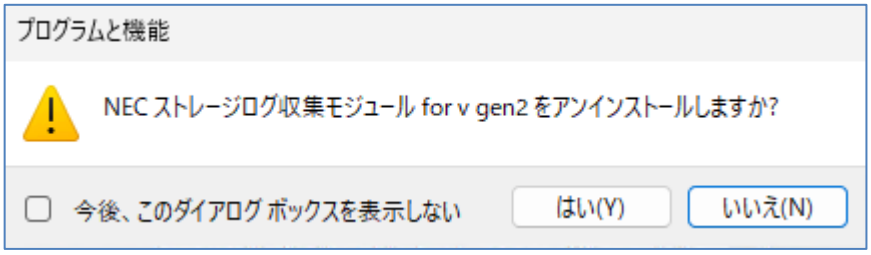
# I. NEC ストレージログ収集モジュール アンインストール

NEC ストレージログ収集モジュールをアンインストールする手順を説明します。
ビルトイン Administrator(または管理者権限のあるアカウント)でサインイン(ログイン)して、
実施してください。

1. 「コントロールパネル」の[プログラムと機能]をクリックします。

2. 「NEC ストレージログ収集モジュール for v gen2」を選択して、[アンインストール]をクリックします。

3. アンインストールの実行を確認するウィンドウで、[はい(Y)]をクリックします。




ヒント
アンインストール後にインストールフォルダーにファイルが残る場合があります。
削除する場合は手動で削除してください。

以上でアンインストールは終了です。

ストレージ診断カルテ
NEC ストレージログ収集モジュール
セットアップガイド

日　本　電　気　株　式　会　社
東京都港区芝五丁目７番１号
TEL（03）3454-1111　（大代表）

©NEC Corporation 2026
日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。